

2017(平成29年)年度 事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一(堀ノ内)・第二(方南)

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

- ・自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
- ・毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
- ・やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

昨年度(28年度)運営面で理事長、施設長の勤務が不規則になり、運営方針・職員への指示が不明確になり職員間に不信感が発生、3事業所間の機能がうまくいかず28年度末には常勤職員が多数退職するという事態が発生しましたが、都育成会、保護者会、関係各位のご尽力で平成29年4月1日より新施設長が就任することが出来ました。その後職場を安定させるため常勤・非常勤職員の採用を行いました。

平成29年7月開催の総会において新理事長も決定し、新体制のもと利用者が事故なく元気に通所できる職場環境づくりを第一に考え、施設の運営を行ってきました。その為には職員の定着、人材の育成が重要でありそのために必要な研修会、諸行事への積極的な参加を行いました。内部研修においては事前に職員にアンケートを取り研修課題を集約して11月に行いました。講師には杉並いずみ理事の松浦氏に依頼しました。会議体については、現場の常勤・非常勤職員で構成する支援員会議、3所の代表者と理事長、施設長、事務員で構成する運営会議、職員全員参加の職員会議を毎月行い、現場の意見を吸い上げ運営に生かしました。また、従来から行っていた三者面談の方法を変え、事前に利用者とは個別面談を行った後、三者面談を行い次期の個別支援計画について話し合いを行うようにしました。年度末にはご家庭向けに施設満足度調査を行いました。

職場の環境改善として第一和泉の利用者の更衣室と作業室にエアコンを設置、丁合機の撤去、第一堀ノ内に給茶器、防犯カメラの設置、第二方南は内装工事を行いました。経理面では賃金関係を除く経理をより明確化するため、新たに税理士法人SVCと契約しました。苦情解決第三者委員が未設置だったため、杉並区と相談して和泉・方南地区民生委員の山本会長にお願いして三者面談の立ち会い等を行いました。また、施設環境を評価してもらう第三者評価を受診しました。利用者の自主生

産品として第一和泉はせんべい、第一堀ノ内はビーズ、第二方南は手織り手染め製品を確立し、販売先も拡大しました。職員については、職務をより明確にする意味で職務分掌を作成し周知しました。保護者については保護者連絡会を年5回行い、その都度保護者のご意見をお聞きし施設運営に反映しました。また、保護者連絡会の無い月には事業所報告を配布し、施設状況を細かく情報発信しました。

今後の施設運営においては利用者の重度化や高齢化に伴い、現在は一時中止してありますがグループホーム等の運営について中長期的に検討する必要があると考えています。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

年2回の個別面談と三者面談に加え、3か月ごとのモニタリングを行うことで個別支援計画の進捗状況を確認し、利用者のその都度の希望を聴いて計画に反映し支援を行いました。相談支援事業所との連携も昨年度よりも増え、相談支援専門員を含めたケース会議も行いました。

(2) 施設機能の充実

情報共有の為のソフト導入し、3施設どこからでも情報を得ることが出来るようにしました。1階面談室を整理し輪転機の導入を行うと共に、杉並区親の会の広報誌作成や利用者のケース会議の場として定着しました。丁合機の搬出を行うことで作業スペースの確保は出来ましたが、利用者の休憩所の確保までには至りませんでした。

(3) 関係機関との連携

仕事ねっと会議、杉並区ネットワーク会議に参加することで杉並区内の作業支援・就労支援の情報を得て新たな販売先の開拓を行いました。杉並区内施設長会、障害の枠を超えた施設による会合、入所説明会、入所調整会議、サービス給付費説明会等に参加することで区内施設とのネットワークを構築しました。

(4) 地域との連携

新たに和泉地区の民生委員さんに当施設の苦情解決第三者委員をお願いして、利用者の三者面談時に同席していただきました。近隣町会の祭りに積極的に参加して交流を深めました。地域の防災会議に参加しました。

(5) 人材育成

職員個別の研修計画作成までには至りませんでした。年2回職員と施設長との個別面談を行うことで、研修希望や職員配置、希望勤務地等を聴き、働く意欲や環境設定について話し合いました。また、研修終了後には当月の職員会議にて報告を行い、他職員にも周知させました。新人職員には先輩職員が個別に

引継ぎを行いました。新人職員用のマニュアル作成までには至らず、既存のサービスガイドラインや職員倫理規程等にて新人育成を行いました。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

① 名称：杉並いずみ第一（和泉）

所在地：東京都杉並区和泉4-4-4

電話：03-5377-2121

E-mail：suginami-izumil@fuga.ocn.ne.jp

② 名称：杉並いずみ第一（堀ノ内）

所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11

電話：03-3317-0831

E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp

③ 名称：杉並いずみ第二（方南）

所在地：東京都杉並区方南1-52-20

電話：03-3321-4485

E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

① 開設 昭和52年3月

② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

① 杉並いずみ第一（和泉）

敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²

建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月

② 杉並いずみ第一（堀ノ内）

面積 162,85 m²

③ 杉並いずみ第二（方南）

面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成

ア. 杉並いずみ第一

職 種	勤務形態	人 数
施設長（管理責任者）	常勤・兼務	1
事務員	常勤	1
主任支援員（サビ管兼務）	常勤	1
生活支援員	常勤	6
生活支援員	非常勤	15
添乗員	非常勤	3
合 計		27

イ. 杉並いずみ第二

職 種	勤務形態	常勤換算後の人数
施設長（サビ管兼務）	常勤・兼務	1
生活支援員	常勤	1
生活支援員	非常勤	5
職業指導員	非常勤	1
合 計		8

②職員人事

年 月 日	氏 名	職 種	事由	備 考
H29. 4. 1	下之藪俊一郎	施設長	出向	東京都手をつなぐ育成会
H29. 4. 1	小鹿 大樹	第一支援員	採用	
H29. 4. 1	吉田 安利	堀ノ内支援員	採用	
H29. 4. 1	大代 治子	第二非常勤支援員	採用	
H29. 4. 21	織田 仁	堀ノ内支援員	採用	
H29. 5. 14	清水 浄音	添乗員	退職	
H29. 5. 17	宮坂 潤一	添乗員	採用	
H29. 6. 2	照山 一二三	第二非常勤支援員	退職	
H29. 6. 7	酒井 秀樹	第一非常勤支援員	採用	
H29. 6. 19	酒井 秀樹	第一非常勤支援員	退職	
H29. 6. 30	村山 琢磨	第一支援員	退職	
H29. 7. 1	藤木 圭子	第二技術指導員	採用	
H29. 7. 4	五十里 昌之	第一支援員	採用	
H29. 7. 4	工藤 恵美	第一非常勤支援員	採用	

H29. 7. 4	吉岡 初美	第二非常勤支援員	採用	
H29. 7. 20	小鹿 大樹	第一支援員	退職	
H29. 7. 28	小澤 新吾	第一支援員	採用	
H29. 8. 31	御子柴 貴之	第一支援員	退職	
H29. 9. 4	佐藤 愛	第一支援員	採用	
H29. 9. 5	佐藤 愛	第一支援員	退職	
H29. 9. 5	大坂 真由	第一非常勤支援員	採用	
H29. 10. 31	宮坂 潤一	添乗員	退職	
H29. 11. 1	苗村 葉月	第一支援員	採用	
H29. 11. 9	小澤 新吾	第一支援員	退職	
H29. 11. 14	岩船 貴行	第一支援員	採用	
H29. 12. 1	三川 智	第一支援員	採用	
H29. 12. 7	三川 智	第一支援員	退職	
H29. 12. 31	山下 りえ	第一支援員	退職	
H30. 3. 1	小林 晴美	添乗員	採用	
H30. 3. 31	篠 由紀子	第一非常勤支援員	退職	

(6) 利用者状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

- ・区内在住の、主に知的障害者のうち、就労経験がある者であって、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者。
- ・就労移行支援事業を利用（暫定支給決定での利用を含む）した結果、B型の利用が適当と判断された者。

イ. 定員 80 名

ウ. 現員 66 名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：(男性) 46.4 歳 (女性) 42.4 歳 (全体) 44.9 歳

	19 以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	1	8	2	10	9	10	40
女性	0	5	5	7	5	4	26
合計	1	13	7	17	14	14	66

③ 障害程度

愛 身障	なし	1級	2級	3級	4級	5級	合計
	2度	14	1	0	0	0	0
3度	23	1	0	1	2	1	28
4度	22	0	1	0	0	0	23
合計	61	2	1	1	2	1	66

④ 障害支援（程度）区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	0	2	11	16	8	7	6	0	50
第二	1	0	1	7	5	0	2	0	16
合計	1	2	12	23	13	7	8	0	66

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高 校・大学	就労	在宅	合計
第一	28	0	5	17	0	50
第二	10	0	2	4	0	16
合計	38	0	7	21	0	66

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	1	0	51	20	877	123	86%	73%
5	60	0	0	51	20	889	111	87%	74%
6	60	0	1	50	22	1001	77	91%	76%
7	60	0	0	50	20	891	89	89%	74%
8	60	0	0	50	19	849	82	89%	74%
9	60	0	1	49	21	880	149	86%	70%
10	60	0	0	49	20	898	82	92%	75%
11	60	1	0	50	20	867	133	87%	72%
12	60	0	0	50	20	886	114	89%	74%

1	60	0	0	50	18	757	143	84%	70%
2	60	0	0	50	19	813	137	86%	72%
3	60	0	0	50	21	891	159	84%	70%
合計	—	2	2	—	240	10,499	1,399	87%	72%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	0	0	15	20	257	43	86%	65%
5	20	0	0	15	20	275	25	92%	69%
6	20	1	0	16	22	330	22	94%	75%
7	20	0	0	16	20	293	27	92%	74%
8	20	0	0	16	19	273	31	90%	72%
9	20	0	0	16	20	300	20	94%	75%
10	20	0	0	16	21	314	22	94%	75%
11	20	0	0	16	20	289	31	90%	72%
12	20	0	0	16	20	297	23	93%	74%
1	20	0	0	16	18	250	38	87%	70%
2	20	0	0	16	19	269	35	88%	70%
3	20	0	0	16	21	305	31	90%	72%
合計	—	1	0	—	240	3,452	348	89%	71%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	路線バス	電車	バス電車	送迎車	合計
第一第二	21	21	7	4	13	66

⑧ 相談支援事業所

事業所名	第一	第二	合計
杉並障害者自立生活支援センターすだち	13	3	16
あおいサポートステーション	4	3	7
すぎなみ障害者生活支援コーディネートセンター（すぎコ）	4	1	5
株式会社 よりみち	4	1	5
相談支援事業所 HUG はぐ	5	0	5
障がい者ケアマネジメント友愛	3	1	4
済美福祉相談室	4	0	4
いたる相談室	3	1	4
ヘルプメイト井草相談支援部	0	3	3

キラキラステーション	2	0	2
ひゅーまん地域生活相談室	2	0	2
スギコーケアセンター	2	0	2
相談支援事業所 かすみ草	1	0	1
相談支援事業所 なでしこ	1	0	1
相談支援事業所 リリーフ	0	1	1
Team. shien. team. shien. m. a	0	1	1
たんぼぼの会	0	1	1
未定（セルフ）	2	0	2
合計	50	16	66

⑨ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施 設移動	入所施 設移動	在宅	死亡	合計
第一第二	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2

⑩ 生活の場

	家庭	GH	単身	合計
第一第二	46	18	2	66

⑪ ぜんち共済加入状況（平成30年3月31日現在）

加入者 97名（施設負担）

4. 事業実績

（1）活動プログラム

公園清掃やリズム体操は年間のスケジュール通り行いました。1日クラブの行先については、利用者の希望を取り各所2回ずつ行ないました。ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてん橋・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・弁天橋東・泉南公園	104回
リズム体操 （講師招聘）	第一和泉	方南会館ホール	11回
	第一堀ノ内	自施設	11回
	第二方南	自施設	11回
一日クラブ	第一和泉	6月オービィー横浜	44名
		3月葛西臨海水族園	39名

一日クラブ	第一堀ノ内	6月 外食・カラオケ 2月 サンシャイン水族館	18名 23名
	第二方南	12月 多摩動物園 3月 外食・カラオケ	20名 21名
音楽鑑賞	第一堀ノ内	10月 「歌のキャラバンコンサート」(こすもす生活園)	16名

週間プログラム (10:30～と 14:30～それぞれ 10 分間の休憩)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業
11:30 ~ 13:30 交代制	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
12:30~	作業	作業	作業	作業	作業
15:50~	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(2) 行事

宿泊旅行の行先については、朝礼や夕礼等を通じて利用者と話し合っ決定しました。いずみまつりでは、利用者ひとりひとり販売の仕事を時間制で行いました。新年会ではひとりひとり今年の目標を発表しました。

項目	施設名	実施月・場所	参加人数
歓迎会 (入所式)	3所	5月 方南会館ホール	96名
宿泊旅行	第一和泉	10月 横須賀	41名
	第一堀ノ内	10月 箱根	23名
	第二方南	7月 日光東照宮	20名
いずみまつり	第一和泉	8月	202名
新年会	3所	方南会館ホール	86名

(3) 就労支援の取り組み

目的	日時	訪問先	参加者
会社訪問	7月13日(木)	(株)ジンダイ 区役所内清掃	利用者1名 職員2名

本年度の三者面談や個別面談により就労希望者を確認したところ、積極的な希望者がいなかったため、職場見学1件に留まりました。

(4) 工賃アップの取り組み

第一和泉の自主生産品のせんべいが作業工程も整備され、安定した収入を確保することが出来ました。第一堀ノ内のビーズアクセサリーは年度後半より開始しましたが、定番商品の確定にまでは至りませんでした。第二方南は販売先が増えたことで収入を伸ばしました。3所共に昨年度より販売先や販売機会を増やしましたが、受注がなくなった会社分の穴が埋められず、昨年度を上回ることは出来ませんでした。

【第一和泉】

自主生産作業：せんべい

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入、おかばっく等

清掃作業：べんてん橋公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

【第一堀ノ内】

自主生産作業：ビーズアクセサリー

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等

清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託）

【第二方南】

自主生産作業：手織り、手染め、フェルトボール作り等

清掃作業：上水橋公園、弁天橋東公園、泉南公園（杉並区より受託）

【生産・販売全体状況】

① 施設外販売

日時	施設名	内容	売上
4月29, 30日	第二方南	高円寺びっくり大道芸2017	17,500円
5月18日	第二方南	品物フェア	17,200円
5月18日	3所	杉並区親の会総会	32,900円
6月3日	3所	セシオン販売会	23,850円
7月2日	3所	妙法寺祭り	62,877円
7月27日	3所	品物フェア	17,900円

7月30日	第一	福社会館祭り	12,190円
8月5日	3所	いずみまつり	106,400円
8月8日	第二方南	JAIFA 東京 2017 夏季セミナー	65,300円
8月26, 27日	第一	29年度高円寺阿波踊り	63,257円
10月1日	第一	世田谷区立砧工房蔵まつり	15,710円
10月9日	第一和泉	体育の日スポーツフェスティバル	8,000円
10月10～13日	第二方南	ハッピースマイルフェスタ (委託)	3,855円
10月15日	第二方南	お会式・一乗祭り	65,650円
10月15日	3所	すぎなみ舞祭 2017	58,280円
10月21日	第一和泉	済美バザー	14,100円
10月28～29日	第二方南	女子美術大学短期大学部学園祭	95,200円
11月4～5日	3所	すぎなみフェスタ	133,820円
11月18日	第一和泉	障がい者サッカーの日	5,250円
11月18日	第一堀ノ内	すぎのき生活園「杉実祭」	13,910円
12月1, 4日	第一和泉	品物フェア	12,600円
12月3日	第一	ふれあいフェスタ	28,433円
12月8, 9日	第二方南	杉並いずみ第二展示即売会	447,380円
12月15日	第二方南	アクセントワークショップ	24,005円
12月16日	第二方南	ルミネ荻窪クリスマスマーケット	41,600円
12月16日	第二方南	方南町クリスマスマーケット	16,250円
1月9日	第二方南	阿佐ヶ谷ふるさと館	7,900円
1月15～19日	第二方南	ハッピースマイルフェスタ (委託)	48,260円
1月23日	3所	阿佐ヶ谷ふるさと館	7,300円
2月6日	第二方南	阿佐ヶ谷ふるさと館	2,650円
2月5～9日	第二方南	ハッピースマイルフェスタ (委託)	23,490円
2月13日	第二方南	品物フェア	11,750円
2月13, 14日	第一和泉	品物フェア	19,400円
2月15日	第二方南	JAIFA ニューイヤーフォーラム	29,200円
2月18日	第一	ボランティア地域活動見本市	11,900円
2月23日	第一和泉	阿佐ヶ谷ふるさと館	8,450円
3月11日	3所	方南町わくわくまつり	49,250円
合計			1,622,967円

【工賃】

【第一】

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	51	49	626,452	12,283	29,779	459
5	60	51	49	439,870	8,624	23,371	1,146
6	60	50	50	309,428	6,188	17,382	951
7	60	50	49	476,478	9,529	24,492	1,964
8	60	50	49	441,133	8,822	23,353	1,015
9	60	49	49	883,797	18,036	41,367	4,030
10	60	49	48	384,880	7,854	24,362	891
11	60	50	50	427,039	8,540	24,079	1,299
12	60	50	50	528,356	10,567	32,399	1,095
1	60	50	48	392,798	7,855	24,443	424
2	60	50	49	359,442	7,188	21,337	1,045
3	60	50	48	306,427	8,179	15,470	1,045
賞与			50	1,711,000	34,220	75,000	9,000
合計	60	50	590	6,738,100	11,421		

【第二】

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	15	15	127,070	8,471	13,700	2,640
5	20	15	15	130,515	8,701	13,300	1,960
6	20	16	16	146,665	9,166	14,260	2,620
7	20	16	16	117,975	7,373	12,340	2,420
8	20	16	16	114,655	7,165	11,840	1,650
9	20	16	16	329,335	20,583	48,700	3,060
10	20	16	16	149,010	9,313	13,680	2,200
11	20	16	16	150,020	9,376	15,050	1,760
12	20	16	16	144,795	9,049	14,790	2,860
1	20	16	16	113,610	7,100	12,140	660
2	20	16	16	119,305	7,456	11,730	1,320
3	20	16	16	131,065	8,192	12,990	1,430
賞与			16	480,000	30,000	185,000	9,000
合計	20	16	190	2,254,020	11,863		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

年度初めの職員会議にて「職員倫理規定」および「杉並いずみサービスガイドライン」の読み合わせを行いました。また3ヶ月に一度職員会議の冒頭において、職員全員に「虐待防止セルフチェックリスト」の記入を行ってもらい、終了後に施設長より一つ一つ解説を行いました。職員の孤立を防ぐために、非常勤職員を多く採用し、基準以上の職員配置を行うことで死角を作らない体制を作りました。今年度虐待事案は発生しませんでした。虐待防止や事故防止のための更なる強化のために支援体制を毎月の支援員会議にて話し合いました。

(2) 虐待防止委員会

今年度は2回実施。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。

- ① 職員チェックリストの実施。
- ② ケース会議を実施。(毎月または必要に応じて)
- ③ ヒヤリハットの分析としてリスクマネジメント委員会を実施(運営会議内)
(虐待防止責任者)

氏名	職種
下之菌 俊一郎	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	下之菌 俊一郎	施設長
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	辻村 佳子	事務員
委員	吉田 安利	支援員
委員	大久保 江理子	支援員

(3) 苦情解決

利用者からの苦情解決実施要項により苦情解決責任者・苦情解決受付担当者を配置すると共に、職員会議にて確認し、職員の共通認識としました。また苦情の受付窓口について下記の内容を保護者に配布し、施設内にも掲示しました。また利用者には苦情解決第三者委員による施設の利用についての聞き取りを行い、保護者には苦情解決のしくみを理解してもらうために保護者会において説明しました。また、苦情・相談等受付書等を整備することで記録として残しました。

① 苦情解決体制

ア

役割	氏名	職種
----	----	----

苦情解決責任者	下之蘭 俊一郎	施設長
苦情受付担当者(第一)	大内 留美子	主任支援員
苦情受付担当者(事務)	辻村 佳子	事務員
苦情受付担当者(堀ノ内)	吉田 安利	支援員
苦情受付担当者(第二)	大久保 江理子	支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員(連絡先) 03-3312-2111(代表)

ウ. その他

苦情解決第三者委員 山本 松江 (連絡先) 03-3315-7059

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口(連絡先) 03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

(連絡先) 03-5238-7020

② 平成 29 年度苦情受付状況

日 時	場 所	内 容	対 応
12 月 9 日	第一堀ノ内	堀ノ内敷地内におにぎりの投棄あり。近隣住民に確認するも不明。	防犯カメラの設置を行った。これ以降投棄なし。
2 月 21 日	第一和泉	近隣住民から自家用車に唾を吐く利用者がいて困っているという内容。	近隣住民に謝罪をし、修理代を弁償する。杉並区に報告済み。

6. 医務

(1) 健康管理

内科、耳鼻科、歯科は医師が来所し、眼科はバスをチャーターして利用者を医院へ連れて行きました。結果については個別に配布し対応しました。また、月初めには体重測定を行いました。

科 目	実 施 月	実 施 機 関	参加者
内科健診	8 月	いらたに内科クリニック	66 名
耳鼻科検診	10 月	白い鳥医院	60 名
歯科検診	1 月	お口の介護相談室	54 名
眼科検診	2 月	おぎくぼ南口眼科	52 名
施設健診	2 月 3 月	高円寺保健センター	34 名

予防接種 (職員含む)	12月	いらたに内科クリニック他	69名
----------------	-----	--------------	-----

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生せず。またインフルエンザ流行時において、職員、利用者から数名発症した報告がありましたが、まん延には至りませんでした。その都度杉並区に報告しました。

- ① 感染症予防のための研修に職員を派遣し、職員会議にて報告・周知を行いました。
- ② 施設内の清掃を1日1回行いました。
- ③ 石鹸、うがい薬を常備し職員、利用者に手洗いとうがいを徹底しました。
- ④ インフルエンザ予防接種を行いました。

7. 危機管理

(1) 事故防止・対応

毎日職員終礼時にヒヤリハット、事故報告をあげてもらいその日のうちに状況と対応を職員間で共有しました。また毎月の職員会議では6カ月毎の事故報告書を作成し、集計分析し傾向と対応方法を確認しました。今年度も施設において各種保険（施設賠償保険、傷害保険）に加入して万が一に備えました。下記の事故のうち通院の必要性のあるものは1件でした。

	自傷	他害	転倒	バス内転倒	行方不明	その他	合計
第一	4	15	5	3	1	5	33
第二	0	0	0	0	1	1	2
合計	4	15	5	3	2	6	35

(2) 緊急時対応等

実際に事故が発生した時は、杉並区ならびに法人に事故第一報を連絡し、経過・対応を伝えました。その後、状況が明らかになって今後の対策等がまとまり次第事故報告書を提出し詳細を報告しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などにおいては、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た方のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）利用開始に伴い、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、従業員等から適切な番号収集を行いました。

職 名	氏 名
取扱管理責任者（法人）	理事長 宮崎 幸雄
取扱責任者	施設長 下之菌 俊一郎
取扱担当者	事務 辻村 佳子

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画における自衛消防体制の組織を確認し、新しく就任した職員を配置した消防計画を杉並消防署に提出し、職員にも役割を掲示し周知しました。

また、消防用設備点検を外部のメンテナンス・サービスに依頼しました。

(2) 避難訓練

【第一和泉】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	5月12日、9月21日、12月20日

【第一堀ノ内】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	9月21日、1月29日

【第二方南】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	9月4日、1月18日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 杉並区立泉南中学校を避難所に行っていることから、9月に行われた防災訓練に参加し、防災ビデオや救急救護訓練、段ボール部屋組立て、炊き出し訓練、初期消火、仮設トイレ組立て等を行いました。
- ② 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 第一・第一堀ノ内・第二合同 5回実施
13時～15時方南会館にて行いました。

日 時	内 容	参加人数
4月5日	新入所者等人事体制、事業計画等	21名
5月24日	行事予定、販売報告、職員状況等	21名
7月13日	事業報告、決算報告、事業計画等	22名
11月15日	行事予定、販売報告、施設状況報告	20名
2月14日	第三者評価利用者アンケート結果報告等	20名

- ② 2月に「施設満足度アンケート」を実施しました。集計は平成30年4月のいずみ連絡会（旧保護者連絡会）にて書面で配布し説明しました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

- ① 地域行事で自主生産品の販売の参加については、上記4、事業実績「施設外販売」を参照。今年度は、数多くの地域行事に参加しました。
- ② 地域の方と利用者との交流の機会については、販売先での交流や公園清掃、施設まつりに留まり、新たな交流の機会を設定できませんでした。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

ア. 杉並区「しごとねっと」や「就労支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」等には定期的に参加し情報の共有を行いました。また、区内の就労移行施設の見学、情報交換を行いました。

イ. 相談支援事業者とは、定期的な電話連絡の他に必要に応じて施設内にてケース会議や個別面談、入院先でのケア会議など関わりを持つことが出来ました。

ウ. 「杉並区手をつなぐ親の会」とは、年度初旬に施設で輪転機を購入することで、親の会発行の情報誌の作成を毎月施設内にて行うことが出来ました。

② 特別支援学校、地元中学校との連携

年間で2名の実習生を受け入れました。その後の入所説明会では、入所希望の生徒の担任教師と入所調整会議内で情報交換を行いました。また、その2名とも来年度入所が決まりました。地元中学校からの実習生を受け入れました。

③ グループホームとの連携

現在利用者19名がグループホームを利用中です。日々連絡帳にて情報交換を行いました。3月には給食試食会を開催して世話人も参加しました。施設とグループホームとの食事の量や内容について個別に情報交換を行いました。また、保護者連絡会にも世話人に参加してもらい情報交換を行いました。東京都手をつなぐ育成会のグループホーム担当の支援ワーカーとも定期的なケース会議を行い、情報交換を行いました。

④ 東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホームにおける支援ワーカーとの連携、都育成会新年会への参加、都育成会地域法人連絡会主催の研修に参加、地域法人連絡会所属施設長との会計面での相談、近隣住民からの苦情対応にぜんち共済経由で都育成会の関哉弁護士の協力、当法人の税理士に都育成会の税理士の採用、都育成

会運営の就労継続支援施設の施設まつりに出店、当施設祭りに招待するなど数多くの連携を行いました。

⑤ その他

- ・施設利用者の高齢により武蔵野市内の生活介護施設への移行時に施設見学や情報交換を行いました。

- ・近隣他法人が経営する喫茶店や店舗に当施設の自主生産品の委託販売をお願いする等連携しました。

- ・自主製品販売で杉並区内の障害者施設の施設まつりに複数参加しました。

(3) 実習・ボランティア等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

第一	第二	合計
20名	72名	92名

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
14名	21名	35名

③ 研修・実習受け入れ状況

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	5名	1名	6名
特別支援学校ミニ実習	14名	0名	14名
中学生実習	3名	0名	3名
高校生実習	1名	0名	1名
大学生実習	1名	0名	1名
在宅者	3名	1名	4名
合計	27名	2名	29名

1 1. 会議・委員会

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
職員会議(臨時含む)	13回	運営会議(臨時含む)	13回
第一和泉支援員会議	12回	第一堀ノ内支援員会議	12回
第二方南支援員会議	12回	工賃評定会議	2回
保護者連絡会	5回	研修報告(職員会議内)	12回

行事会議（職員会議内）	3回	事故報告（職員会議内）	12回
-------------	----	-------------	-----

(2) 委員会

会議名	回数	会議名	回数
リスクマネジメント委員会 (運営会議内)	2回	虐待防止委員会 (運営会議内)	2回

1 2. 研修計画

(1) 研修実績

① 所外研修

実施日	研修内容	主催者	人数
5月15日	せんべい手焼き体験	草加せんべいいけだ屋	1名
6月10日	日帰りレク体験	杉並区手をつなぐ育成会	1名
6月12, 13日	防火・防災管理講習	東京消防庁	2名
6月16日	ボランティア受入担当者連絡会	杉並区社会福祉協議会	1名
6月26, 27日	サービス管理責任者研修	東京都	2名
7月11日	施設見学会・講義	杉並区	1名
7月19日	ボランティア受入担当者研修	杉並区社会福祉協議会	1名
7月20日	Kurumiru 出品事業所業務説明会	東京都福祉保健局	1名
8月8, 9, 10日	夏休み親子作業体験会	杉並区手をつなぐ育成会	3名
9月26日	工賃アップセミナー	東京都福祉保健局	1名
9月30日	防災訓練	杉並区立泉南中学校震災救護所運営連絡会	2名
11月1, 8日	サービス管理責任者研修	東京都	1名
11月9, 13日	強度行動障害支援者養成研修	東京都福祉保健財団	1名
11月30日	障がい者福祉研修「全体研修会」	杉並区	6名
12月5日	感染性胃腸炎への感染症対策講座	杉並区	2名
12月14日	障がい者福祉研修「全体研修会」	杉並区	5名
1月30日	仕事ねっとセミナー	杉並区	1名
1月30, 31日	強度行動障害支援者養成研修	東京都福祉保健財団	1名
2月19, 27, 28日	サービス管理責任者研修	東京都	1名
3月1, 2日	強度行動障害支援者養成研修	東京都福祉保健財団	1名
3月5日	アレルギー対応研修	東京子育て応援事業	4名

② 所内研修

実施日	研修内容	講師等	人数
-----	------	-----	----

11月29日	障害・支援・キャリア発達等新任職員向け研修	杉並区教育委員会 松浦隆太郎 氏	24名
--------	-----------------------	---------------------	-----

(2) 職員育成

人材育成については、個別面談をもとに研修希望を募りました。研修の実施については必ずしも希望の研修に参加できるに至ってはいませんが、毎月の職員会議を研修報告にあて、研修内容を日常の支援フィードバックする機会を設けました。所内研修においては新人職員が多いため基本的な内容を行いました。

(3) 大会参加

実施日	研修内容	主催者	人数
7月7日	都大会	東京都手をつなぐ育成会	2名

1 3. 労務管理

(1) 職員健康管理

- ① 全職員を対象に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。
- ② 全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施。
- ③ 細菌検査（O157、サルモネラ菌、チフス菌、赤痢菌、パラチフスA）
対象者：自主生産品（せんべい）担当職員

(2) セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止

相談受付の担当職員を設置して防止に努めた。研修参加にまでは至りませんでした。相談実績は各0件。

(3) メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェック制度の確立には至りませんでした。

(4) 次世代育成支援

- ① 年次有給休暇簿を新しくすることで、有給休暇の日数をすぐに確認でき、計画的な取得が行われました。
- ② 施設祭り「いずみまつり」のときに来所を呼び掛け、職員の家族が来所しました。

1 4. 指導・監査・調査等

(1) 施設満足度調査を平成30年2月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「個別支援計画の内容」「行事の内容」「お弁当の内容」「健康管理の内容」「建物の広さ、清潔さ」「職員の態度」について「満足」「だいたい満足」の結果を得ました。「工賃について」は半数が「わからない」という回答でした。

(2) 福祉サービス第三者評価の結果の反映

第三者評価をNPO法人市民シンクタンクひと・まち社で受審しました。

15. その他

(1) 広報活動

広報誌は内部向けに3回発行しました。また、行事後にホームページのブログの更新を行いました。自主製品のホームページ掲載までには至りませんでした。

(2) 資金計画

- ・施設整備として、第一和泉2階の作業室と更衣室にエアコン4機設置、新利用者入所に伴いロッカーの購入、作業椅子購入と座面クッションの張り替え、洗面所の蛇口交換、第一堀ノ内に給茶器導入、自主生産品機械としてシーラーを購入しました。
- ・職員給与には処遇改善助成金の一部を活用しました。
- ・東京善意銀行様より掃除機、空気清浄器等、昭和会館様より計量器、自動テープカッターの寄付を受けました。

16. 決算

別紙